

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●柴田善臣騎手がJRA 史上最年長勝利記録を更新

11月5日(土)の3回福島1日・第1レースではビルカールが1着となり、同馬に騎乗した柴田善臣騎手(美浦・フリー)は、56歳3か月7日での勝利をあげました。これは岡部幸雄元騎手が2005年にあげた56歳2か月24日での勝利を14日上回る、JRA 史上最年長勝利記録となります。

●吉田隼人騎手がJRA 通算1万3000回騎乗を達成

11月6日(日)の5回阪神2日・第2レースではエイシンジェンマが1着となり、同馬に騎乗した吉田隼人騎手(美浦・フリー)は、史上23人目、現役では16人目となるJRA 通算1万3000回騎乗を達成しました。

●竹内正洋調教師がJRA 通算100勝を達成

11月6日(日)の5回東京2日・第3レースではアームブランシュが1着となり、同馬を管理する竹内正洋調教師(美浦)は、現役150人目となるJRA 通算100勝(延べ1915頭目)を達成しました。

●西村淳也騎手が秋の新潟リーディングジョッキーに輝く

10月30日(日)をもって4回新潟競馬が終了し、8勝をあげた西村淳也騎手(栗東・フリー)が開催リーディングジョッキーとなりました。

●尾形充弘元調教師が「旭日双光章」を受章

令和4年秋の叙勲において、尾形充弘元調教師に旭日双光章が授与されました。尾形氏は1982年から2018年の引退までに調教師として800勝をあげ、2010年からの2年間は社団法人(現在は一般社団法人)日本調教師会の会長を務めるなど、中央競馬の発展ならびに畜産業の振興に多大なる貢献を果たした功績が認められ、今回の受章となったものです。

●クレッシェンドラヴの競走馬登録抹消

2020年七夕賞(GⅢ)などの勝ち馬クレッシェンドラヴ(牡8歳/美浦・林徹厩舎)は、10月7日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA 通算成績は31戦7勝で、今後はJRA 馬事公苑で乗馬となる予定です。

●チュウワウイザードの競走馬登録抹消

2020年チャンピオンズカップ(GⅠ)の勝ち馬で、交流競走では2019年JBCクラシック(浦和・JpnⅠ)などを制し、ドバイワールドカップでも2021年2着・2022年3着と好成績を残したチュウワウイザード(牡7歳/栗東・大久保龍志厩舎)は、10月13日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA 通算成績12戦6勝・地方11戦5勝・海外3戦0勝で、今後は北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドの結果

2022ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド笠松は11月2日に実施され、第1戦は長江慶悟騎手(笠松)、第2戦は東川慎騎手(笠松)が制しました。これでトライアルラウンドは全て終了し、JRA 所属では水沼元輝騎手、小林凌大騎手、永野猛蔵騎手、佐々木大輔騎手(以上美浦)、永島まなみ騎手、泉谷楓真騎手、角田大河騎手、川端海翼騎手(以上栗東)がファイナルラウンド進出を決めています。

●ゴールドジュニアはリベイクフルシティ【各地の主要2歳重賞】

ゴールドジュニア(9月22日、大井、1200^米)は、中団から追い上げた3番人気のリベイクフルシティ(騾、父マジステティックウォリアー)が、先に先頭に立った単勝1.9倍で1番人気のポリゴンウェイブをゴール前で捉え、デビュー以来の連勝を4に伸ばしました。サンライズC(9月22日、門別、1800^米)は、先手を取った3番人気のオーマイグッネス(牡、父マクフィ)が、直線で一旦交わされた単勝1.2倍で圧倒の人気のベルピットを差し返して優勝。園田グリーンセスC(9月22日、園田、1400^米、牝馬)は、4番手前後を進んだ5番人気のアドワン(父ストロングリターン)が直線半ばで抜け出し、重賞初制覇を果たしています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ブリーダーズカップ〜クラシックはフライトラインが圧勝

現地11月4日、5日に米国ケンタッキー州のキーンランド競馬場で行われたブリーダーズカップ(以下BC)のメインレースであるG1BCクラシック(5日、3歳上、ダート2000^米)は、単勝1.44倍の圧倒的な1番人気に支持されたフライトライン(牡4歳、父タピット、J.サドラー厩舎)がF.プラ騎手を背に2番手追走から早めに先頭に立つと、G1ジョッキークラブゴールドCの勝ち馬オリンピックにレース史上最大着差となる8馬身1/4差をつけて圧勝しました。フライトラインは、昨年4月のデビューから6連勝で、G1は昨年12月のマリブS(ダート1400^米)、今年6月のメトロポリタンH(ダート1600^米)、9月のパシフィッククラシック(ダート2000^米)に続いての4連勝。これを最後に現役を退き、ケンタッキー州のレーンズエンドファームで種牡馬入ります。なお、5日のG1BCフィリー&メアスプリント(3歳上牝、ダート1400^米)に日本から参戦したチェーンオブラブ(牝5歳、父ハーツクライ、美浦・小笠倫弘厩舎)はグッドナイトオリブ(牝4歳、父ゴーストザッパー、C.ブラウン厩舎)の10着に敗れています。